

第49回田原市男女共同参画推進懇話会 議事録要旨

1 日 時	令和6年5月20日（月）午後2時30分～4時05分
2 場 所	田原市役所北庁舎3階 300会議室
3 出席者	別紙「出席者名簿」のとおり
4 会議事項	1 あいさつ 2 報告事項 （1）田原市男女共同参画推進懇話会の概要 （2）市の取組 （3）その他 3 議題 （1）令和6年度男女共同参画啓発事業 田原市 SDGs フェスタについて（第16回男女共同参画フェスティバル） 4 その他 （1）各委員の取組状況・意見 （2）避難所運営ゲーム（HUG）の実施について

※委員の発言に対する回答・意見について

“⇒”で示したものは事務局の回答・意見

“➡”で示したものは他の委員からの回答・意見

会議内容要旨

事務局：会議資料の確認

1 あいさつ

●会長あいさつ

- ・懇話会は4年目、会長は2年目となる。歴の長い委員の方もたくさんいるので、今も勉強中という思いでいる。

●オブザーバーあいさつ

- ・前回の会議で市内に混合名簿を採用していない学校があることが話題にあがったが、事務局が教育委員会に話をして、今後すべての学校で採用する予定となったと聞いた。男女共同参画はすべての課に関わるものなので、今後も色々やってみていただけたらいいと思う。
- ・日本は女性の貧困がクローズアップされたり、ジェンダーギャップ指数が低いという状況だが、男女共同参画の意識レベルとしては上がってきている。教育など、社会構造を変えていくことが女性の暮らしやすい社会に繋がる。

2 報告事項

（1）田原市男女共同参画推進懇話会の概要

- 事務局：資料1について説明

（2）市の取組

- 事務局：資料2について説明

《委員からの意見》

（資料2－6について）

- ・事実婚も対象か。
⇒すべてのカップルが対象。
- ・愛知県のファミリーシップ制度利用者は田原の制度を利用しなくても市のサービスを使えるのか。

⇒利用可能。市の HP には愛知県と田原市で使えるサービスを一覧で掲載し、愛知県は各市町のサービスを掲載している。

- ・県との連携協定はどうか。

⇒県はどこの自治体とも協定を結んでいない。愛知県の中で協定を結んでいる自治体同士としては、転出入の手続きが簡略化される。

- ・アウトティングが怖いので、人権に配慮するという内容のことを要綱のなかに入れてほしい。

⇒検討する。

(資料 2-2 について)

- ・審議会委員について、防災会議の割合がとても低い、このあたりはどうなっているのか。

⇒防災会議のメンバーの選定は先方（例えば警察・自衛隊など）の判断になり、必ず女性を選ぶようお願いすることはしていない。

- ・市の管理者の割合は係長以上でよいのか。

⇒係長以上の割合。なお、資料にはないが、職員の男女比は管理者の男女比の割合に近いものとなっている。

- ・農業委員会は全員で 23 名いて、うち 2 名のみが女性。選び方を聞きたい。

⇒公選となり、小学校区から 1 名ずつ出している。

- ・農業の分野について、女性をもっと活躍させる、女性が日常的に何か発言できたり行動できたりするということを考えていく必要がある。JA の広報誌の表紙も女性が少ないのが気になる。

→現状、広報誌の表紙は各生産部会の代表者にやっていただいている。ご意見については一度持ち帰らせていただく。（杉浦委員）

(3) その他

- 事務局より報告（男女混合名簿の現状と今後の見通しについて）

- ・前回の懇話会にて、市内すべての学校で混合名簿を採用してほしいという話題があがったが、事務局の方から教育委員会に話をした。令和 6 年 2 月のことであり、令和 6 年 4 月の新年度からすぐに取り掛かることはできなかったが、令和 7 年度からはすべての学校で採用する方向となった。

3 議題

(1) 令和 6 年度男女共同参画啓発事業

田原市 SDGs フェスタについて（第 16 回男女共同参画フェスティバル）

- 事務局：資料 3 について説明

- ・運営部会の部会長・副会長を決定

部会長…清水委員

副部会長…永田委員

4 その他

(1) 各委員の取組状況・意見

- 各委員：資料 4 について説明

- 当日意見（資料なし）

①金田委員：小学校の運動会について、綱引きだけでなく、短距離走や帽子とり、鈴とりを男女が一緒にやっている。中学生は走力などが変わるので、混合リレーの男女の順番を揃えるということはあるが、学校では男女共同参画の教育について意識をして取り組んでいる。

②北野谷委員：多くの職場で女性を管理職に登用していこうという流れがあるが、「力はないが女性を上に登用しなくてはいけないのであの人が選ばれた」という認識を持っている人がいたり、男性からは、「女性を上にと上げると仕事ができない」という評価に繋がっていつてしまうことがある。例えば人事評価で同じぐらいの力だとしたら女性に登用するというような動きも出ていると思う。男女共同参画の過渡期において必要なことと考えるが、皆さんの意見を聞きたい。

《委員からの意見》

- ・政治家については、北欧では女性の割合が増えて制度が良くなったという結果も出ている。それを踏まえている企業も多いと思う。女性が女性として背負ってきたものは仕事に役立つというのが最近の認識で、それが価値として高いということが効果測定をされているのだと思う。ただし業種と企業の状況によってケースバイケースであるため、一般化はできない。
女性の管理職登用について議論があった時期もあったが、今は女性を登用すると様々な効果が出るという考えが一般化してきている。また、それを理解し、支えてくれる男性もいることがすごく大事。
- ・JAの女性が管理職になる割合は一般企業に比べて非常に低い状況と思う。
ただし、今年の4月からは、部長職に1名、女性が初めて登用された。そういった点で少しずつは進んでいると思う。

③北野谷委員：社協だよりの防災コーディネーター養成講座の案内について。

講座を受けた証明書のようなものがあれば女性も避難所リーダーとして賛同を得やすいと思う。
女性が受講しやすいよう、女性向けの養成講座を行うのも良いと思う。

《委員からの意見》

- ・ボランティアのニーズの中に、例えば避難所で女性の困りごとなどがあると思う。そのニーズがわかっているボランティアコーディネーターの育成も必要と思う。

(2) 避難所運営ゲーム (HUG) の実施について

- 事務局：資料5について説明

午後4時05分閉会